

QST, AZ
Racing Club

LT-Q6000

GPS LAP Timer Color

ユーザーマニュアル

日本語



LT-Q6000 GPS ラップタイマー使用者ガイド

■ A. LT-Q6000 同梱内容

- 1) QSTARZ LT-Q6000 本体
- 2) ブラケット
- 3) Mini USB 充電ケーブル
- 4) 車載用充電器
- 5) ソフトウェア CD
- 6) 説明書
- 7) 専用シール + 保証カード
- 8) LT-Q6000 ハードシェールケース(オプション)
- 9) 吸盤式ホルダー、バイク用ホルダー(オプション)



(1)



(2)



(3)



(4)



(5)



(6)



(7)



(8) オプション

主要機能

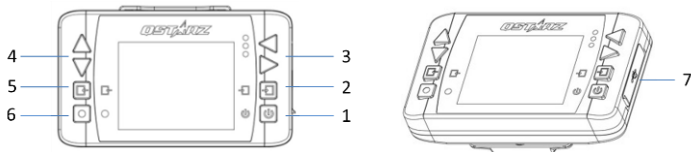
- 10Hz（一秒につき 10 回記録）の高い精度で記録・計時します。
- リアルタイムで各種レースの情報を記録・解析します。
- 2.4 インチカラーモニターにてリアルタイムで正確な情報を表示します。
- リアルタイムでラップ・スプリット・区間を比較・分析します。
- マルチ機能 - ドラッグ、サーキット、GPS 記録
- ドラッグモードでは各タイプのモードを内蔵しています。（速度、距離、新規作成の設定、マイルとキロの変換が設定できます）
- サーキットモードでは環境とニーズによっては、シンプルラップとスプリットタイムを選ぶことができます。
- 車を調整・修正する際、性能を検証することに適しています。
- 大容量メモリー内蔵
- いつでもデータベースを閲覧・分析することができます。
- G 値表示機能に対応します。重力加速度 G はリアルタイムで表示できます。
- スピードメーター機能に対応します。リアルタイムで車速度の表示が可能です。
- 単位、バックライト、輝度、タイムゾーン、時間形式はデバイス上において調整できます。

商品仕様

- 最新チップ搭載、高感度-165dBm、衛星捕捉 66 チャンネル
- 2.4(320×240)65,000 色カラー液晶モニター
- 省電力で 10 時間の駆動時間(LCD バックライト ON の状態)
- 頻度が高く、一秒につき 10 回記録は高い精度で記録・計時します(0.1 秒につき 1 点が記録されます)。
- 8 個の機能ボタンについて方向ボタンが 4 個(上・下・左・右)であるほか、戻りボタン、決定ボタン、マルチ機能ボタン、パワーボタンがあります。
- 3 個の LED ランプはデバイス状態を表示できます：グリーン(省エネモード)・オレンジ(充電モード)・レッド(アラーム機能)であります。
- 内蔵型の 3 軸加速度センサーはいつでも G 力を感知・計測します。(1 秒ごとに感応し、最大感応範囲は±3G です)
- 大容量メモリー内蔵
- パソコンにつながとすぐ使えます。また QRacing を一緒に使いますと、手早くデータを取ることができます。
- 内蔵型ブザーはリアルタイムでデバイス状態を知らせます。
- IPX-3 防雨型で、美しい外観でございます。
- AGPS 自動アップデートに対応します。(ウォームスタートは 15 秒かかり、速い測位が行われます)

- Mini USB インターフェスは充電・データのダウンロード・ファームウェアの更新に対応します。
- ファームウェアの更新とアップデートに対応します。
- 動作環境に関して、動作温度：-10℃~+60℃；保存温度：-20℃~60℃；充電温度：0℃~+45℃
- サイズ/重量：100×59×28mm/107g(ブラケットを除き)

■ B. 外観



項目	アイコン	機能
1. 電源ボタン		・電源ボタンを3秒間押すと、パワーON/OFFになります ・メインメニューに戻ります
2. 決定/設定ボタン		項目の選択及び決定します
3. 左/右方向ボタン		選択項目に左/右を移動します
4. 上下方向ボタン		選択項目に上/下を移動します
5. 戻り/キャンセルボタン		キャンセル及び前の画面に戻ります
6. スタートボタン		設定動作をスタートします (レース/ログ)
7. Mini USB ポート/ リセットボタン		・充電用 ・データを入力/出力 ・ファームウェアの更新

■ C. アイコンの説明

アイコン	説明	アイコン	説明
	GPS未捕捉・GPSシグナル検索中		フル充電
	GPS2D捕捉		電力低下(電池使用時間が15%以下の場合)(赤いランプ)
	GPS3D捕捉		電力低下(電池使用時間が5%以下の場合)(赤いランプ)
	GPSエンジン終了中(赤いランプ)		GPS記録中(緑色ランプ) GPS未記録(赤いランプ)
	ドラッグモード		サーキットモード
	GPSロガーモード		履歴
	アプリケーション		設定

■ D. LED ランプ表示について

LED	赤色	<ol style="list-style-type: none"> 1.メモリがいっぱいになり、またメモリを読み取る際にエラーが発生した場合。 2.電池が低下する状態になっている際に、赤色LEDランプが三秒点滅し、電池が5%を下回る状態になっている際に赤色LEDランプが点灯します。
	オレンジ色	<ol style="list-style-type: none"> 1.デバイスが充電中になっている際はオレンジLEDランプが点灯します。 2.デバイスがフル充電になっている際はオレンジ色LEDランプが点滅します
	緑色	デバイスが省エネモードになっている際は(バックライトOFF)緑色LEDランプが三秒間隔で点滅します

■ E. 安全上のご注意

注意：ご使用前、下記の安全説明を必ずお読みください。

- 本商品は熱の発生源と高温環境から離れてください。過熱、爆発、溶解の恐れがあるため、LT-Q6000 は摂氏 60 度以上の場所において露出しないほうがよいです。
- 長時間使わなく、また車を離れる際は本商品を車の収納ボックスに収納することをお勧め致します。車内温度が高すぎる場合、商品の故障・損壊につながる可能性があります。
- 火災や感電のリスクを軽減するため、本商品は湿度の高いところや雨中で電源に接続はお控ください。
- 安全にお使い頂くため、運転と視界の妨げになる場所には設置しないでください。例えば、シフトレバーの周辺とブレーキ、アクセルペダル周辺等
- 本説明書に記載されている内容を守らないことにより生じた損壊に関しては、弊社は一切の責任を負いません。
- 清潔で乾いた柔らかい布で表面を拭いてください。清掃する場合は刺激性の科学洗剤、清潔クリーナー、強力洗剤を使わないでください
- 利用者は本商品を分解しないでください。無断で分解し、本体カバーが開けられ場合、保証の対象外となります。

■ F. 電池を充電するについて

初めてご利用いただく場合、長持ちさせるために、電池をフル充電になるまでに充電してください。LT-Q6000 はリチウムイオン充電電池を内蔵し、USB インターフェースを通じ、パソコンや自動車用シガーソケットより充電が行えます。シャットダウンしたまま充電すると、約 5 時間かかり フル充電の状態ではデバイスの連続使用時間は約 10 時間です。

注意：電池の損傷を防止するため、12 時間以上に充電しないでください。したがって安全上のため電池が熱くなったときに充電停止となります。

■ G. ブラケットの装着方法

(1)

(2)

(3)



- (1) LT-Q6000 包装中身にネジとブラケットがあります。
- (2) ブラケットをLT-Q6000裏面のネジの位置に合わせてください。
- (3) ドライバーを使い、ブラケットとLT-Q6000を固定させてください。

■ H. LT-Q6000 の車への取り付け方

1. 運転と視界の妨げになる場所を除き、LT-Q6000 をフロントガラスに合わせ、強く押し込んだままラッチを置くまで回すことで吸着させることができます。

注意：あとかじめアルコールや布でフロントガラスを清潔に拭いてから吸盤式車載用ホルダーとデバイスの装着を行ってください。



2. ブラケットを吸盤式車載用ホルダーに固定させてください。



3. デバイスを固定する際に、内蔵の3軸加速度センサーを精度をより高いものにするためには、LT-Q6000が垂直状態を維持するようにしてください。



■ 1. ご利用開始にあたって

「電源」ボタンを3秒ほど長押しすると、デバイスをスタートさせます。スタート画面が表示されるとメインメニューに入ります。メインメニューは以下のモードが含まれます。

1. ドラッグレース
2. サーキットレース

3. GPS ロガー
4. 履歴
5. アプリケーション
7. 設定

選びたいモードを指定すると、該当モードは赤色で表示することになります。



起動画面



メニュー

LT-Q6000 設定の際は室外で使用してください。

周囲に GPS の障害になるような物が無いほど、GPS シグナルの即位を早めるだけではなく、より正確な捕捉情報を提供することができます。デバイスの 3D 捕捉がまだ完了されていない状態では、レース計測機能をご利用いただけません。その場合画面に「GPS シグナル検索中」が表示します。



I-1. ドラッグレースモード

ドラッグレースモードは「距離」と「速度」の設定で車の加速性能を検証することができます。



- **セッション番号**：システムは自動にセッション番号を日付順「YYMMDDXX」に編集します。
- **セッションタイプ**：速度、または距離が選択できます。
- **計測基準**：
 - 速度を選択した場合**：あらかじめ設定された選択肢(0-60 km/h・0-100 km/h・0-200 km/h など)や新規作成の機能を選ぶと、計測基準を設定できます。
 - 距離を選択した場合**：あらかじめ設定された選択肢(100メートル・200メートル・400メートル・1000メートルなど)や新規作成の機能を選ぶと、計測基準を設定できます。
 - *メインメニューにある「設定」項目では、マイルとメートルが切り替えられます。
- **比較基準**：画面に表示される比較基準は「ベスト」か「前ラップ」が選択可能です。
- **情報欄の選択**：画面の右上にある表示情報を設定できます (**SP** 速度、 **D** 距離、 **B** ベスト、 **L** 前ラップ)。
- **●**を押すと、デバイスが前に進むGに反応し、自動に計測と記録を始めます。リザルトの算出に関してはご指定の設定に従う開始基準からスタートし、終了するまでの時間に、リザルトが自動で表示されません。

☆ ドラッグレースのリアルタイム画面(例：速度基準が 0-100km/h)

走行中に、●を押すと、画面右上の表示情報が切り替えられます。そのタイムがベストか全ラップより速い

場合、画面が**緑色**に表示する同時に、ベストか全ラップとの差も表示されます。そして、そのタイムがベストか全ラップより遅い場合、画面が**赤色**に表示する同時に、ベストか全ラップとの差も表示されます。



- =ラップタイム ボタンを押すと、結果が表示されます。

RUN	TIME	+/-
1	8.313	+1.916
2	9.080	+2.683
3	6.397	BEST

- ●=メニュー ボタンを押すと、次のラップに切り替え、各ラップの詳細を表示し、セッションを終了し、メインメニューに戻るといことになります。



I-2. サーキットレースモード



サーキットでは目的の違いによって各タイプを選び、計測が行えます。「スプリットタイム」と「シンプルラップ」という選択肢があります。



● スプリットタイム：

- クローズドトラック新規作成(コースにおいてスタートとゴールが同じ位置である場合)
- オープントラック新規作成(コースにおいてスタートとゴールが異なる場合)

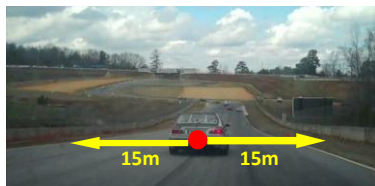
スタート・ゴールを新規作成するか、あたかじめデバイスに取り込まれているスタート・ゴールとスプリット情報をダウンロードして使用可能となります。

(スタート・ゴールとスプリット点を作成する方法は、次の項目の説明をご参照ください。)

- シンプルラップ：●を押すことだけで、スタート・ゴールの設定が行え、そのまま走行し、記録が行えます。

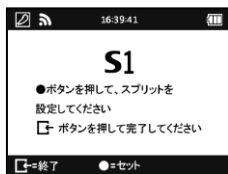
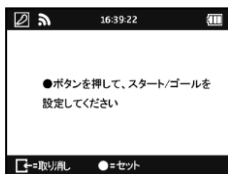
アドバイス：スタート・ゴールを設定する前に、車をゆっくり前に進んでからボタンを押すと、精度率が高まります。

- 画面に表示される比較基準は「ベスト」か「前ラップ」が選ばれます
- 情報欄の選択：画面の右上にある表示情報を設定できます (**SP** 速度、**D** 距離、**B** ベスト、**L** 前ラップ、**ST** スプリットタイム)。
- ビーコン線の幅：ビーコン線とは仮のゴールとスタートを設定するために使われるものです。既定のビーコン線の幅は 30 メートル(車の両側から 15 メートル)として設定し、均等に車の両側に定義することになります(下図をご参照)。



◇ スタート・ゴールとスプリット点を新規作成するについて

1. 設定するには、低速走行中(少なくとも40km/h)においてスタート&ゴールとして設定したい場所で、●ボタンを押してください。



2. スタート&ゴールの設定が終了してから●ボタンを押して該当サーキットのスプリット点を設定してください。
(注意：各トラックにおいてスタート・ゴールとスプリットは全部 25 個まで設定可能です。)

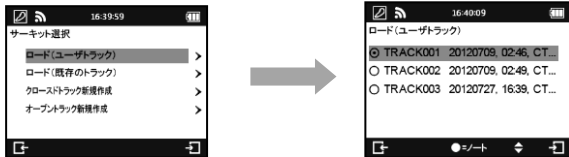


3. ☐=終了 ボタンを押して、スタート・ゴールとスプリットの設定を完成してください。該当トラックは自動

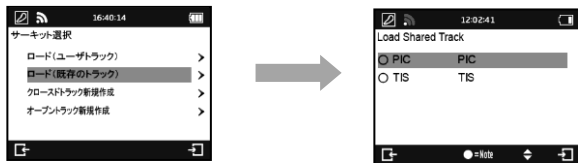
に Q6000/BEACON/USER に保存されており、その後、このトラックを読込みたり、他のユーザーと情報交換した利する場合は、PC に接続後上記のフォルダーを確認ください。

4. ユーザのトラック内でスタート/ゴールとスプリットを選択、あるいは既存のトラック内で入り、QRacing でインポートするか、あるいは Web 上でスタート/ゴールとスプリットをダウンロードしたデータを選びます。

*ロード(ユーザトラック):



*ロード(既存トラック):



5. ● ボタンを押してレーシングスタートと記録

アドバイス: スタート・ゴールとスプリット点を設定するにあたり、走行中に行くと、より精確な位置になります。
 注意: スタート・ゴール・スプリットの場所を変更、修正したい場合は、QRacingを通じてそれを編集し、再入力することもできます。(詳細はK-2ピーコンを編集するについてをご参照)

◇ サーキットレース表示画面(例: スプリットタイム)

スプリットタイムでは、●を押すと、画面右上の表示情報が切り替えられます。そのタイムがベストか全ラップより速い場合、画面が緑色に表示する同時に、ベストか全ラップとの差も表示されます。そして、そのタイムがベストか全ラップより遅い場合、画面が赤色に表示する同時に、ベストか全ラップとの差も表示されます。



- ▶ **←=停止** ボタンを押すと、セッションのラップとスプリットの時間を終了し、そして、確認できます。

Lap	Full	+/-
Opt	14.198	-0.318
1	17.290	+2.773
2	17.769	+3.253
3	16.798	+2.282
4	14.516	BEST

- ▶ ●=**メニュー** ボタンを押すと、お好みのモードを選び、該当セッションの詳細分析情報を閲覧できます。




- **Sector(区間)** : 前の区間点から次の区間点までの区間時間です。◀▶ ボタンを押すと、各区間の時間

情報を閲覧できます。

Lap	Sector1	+/-
Opt	2.267	-0.318
1	2.818	+0.233
2	2.267	-0.318
3	2.731	+0.145
4	2.586	-0.000



Lap	Sector2	+/-
Opt	3.620	-0.000
1	3.952	+0.332
2	5.182	+1.562
3	3.671	+0.051
4	3.620	-0.000

- **Split (スプリット)** : スタート点からご指定のスプリット点まで合計スプリット時間です。 
ボタンを押すと、各スプリットの時間情報です。

Lap	Split1	+/-
Opt	2.267	-0.318
1	2.818	+0.233
2	2.267	-0.318
3	2.731	+0.145
4	2.586	-0.000



Lap	Split2	+/-
Opt	5.887	-0.318
1	6.770	+0.565
2	7.449	+1.243
3	6.401	+0.196
4	6.206	-0.000

- **Split Speed (スプリット速度)** : スプリットを通過する瞬間の速度です

Lap	Speed1 (kph)	+/-
Opt	178.827	+42.670
1	128.497	-7.660
2	178.827	+42.670
3	129.159	-6.998
4	136.157	-0.000



Lap	Speed2 (kph)	+/-
Opt	161.230	-0.000
1	145.216	-16.014
2	136.083	-25.147
3	181.556	+20.326
4	161.230	-0.000

- **Speed & G 値** : 該当セッションにおける最大・最小・平均速度と最大G値です。

Lap	Vmax (kph)	+/-
Opt	268.892	-0.000
1	209.449	-59.443
2	211.399	-57.493
3	219.229	-49.663
4	268.892	-0.000

Lap	Vmin (kph)	+/-
Opt	106.137	+0.831
1	48.795	-56.511
2	28.068	-77.239
3	61.957	-43.350
4	105.307	-0.000

Lap	Vavg (kph)	+/-
Opt	184.656	+3.770
1	150.512	-30.374
2	147.562	-33.323
3	156.417	-24.469
4	180.886	-0.000

1-3. GPS ロガーモード



LT-Q6000 は GPS 軌跡記録デバイスとして使い、トラベルの軌跡と地理的情報を記録できます。



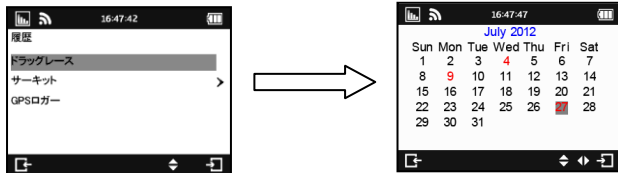
- **ログ番号**：システムは自動にログ名を日付順基準「YYMMDDXX」に編集します。
- **記録頻度**：記録頻度が選択できます(選択肢が設定なし、1Hz・5Hz・10Hz、ユーザー定義があります)。
- **距離**：ご指定の距離条件に沿い、記録を行います(0メートルから9999メートルまで)。
- **速度**：ご指定の速度条件に沿い、記録を行います(0km/hから9999km/hまで)。
- ●ボタンを押し、ログを開始できます。

ノート：記録頻度は5Hzか10Hzと設定すると、速度と距離条件の選択が自動的にキャンセルし、選択できません。

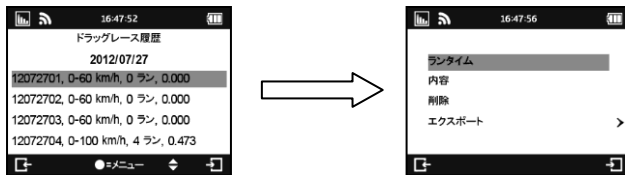


I-4. 履歴モード

履歴モードでは LT-Q6000 デバイスにある全記録データを閲覧できます。記録はスケジュール形式で表示し、その中、**赤色**として表示する場合、その日にデータがあるということで、その内容を閲覧することができます。そして、トラック名前から記録を閲覧することもでき、サーキットのデータのみに対応します。



- ▶ ●=メニュー ボタンをクリックすると、ご指定のセッションの全ラップリザルトを閲覧することができ、そして、関連する内容を閲覧し、削除し、エクスポートすることができます。エクスポートできる形式に関して、KML、CSV、GPS、GPXというファイル形に対応します。エクスポートとなったファイルは **Q6000\Exports** に保存されています。

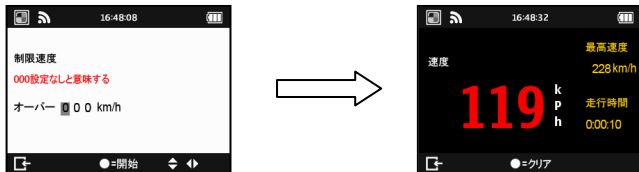


I-5. アプリケーションモード

アプリケーションモードでは、LT-Q6000をGPSスピードメーターか遠心力メーターとして設定し、使用することができます。また、アプリケーションモードではGPSシグナル状態とデバイスコールドスタートもあります。

◇ スピードメーター

スピードメーターではリアルタイムで車の走行速度、最高時速、走行時間を表示することができます。制限速度機能に対応し、ご指定の速度を超えた場合、スピード表示が赤くなり、ドライバに提示します。



◇ 遠心力メーター:

遠心力メーターは内蔵型の動力センサーを採用し、図の形でリアルタイムでのG値情報を表示します。



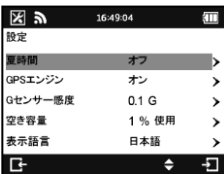
◇ GPS コールドスタート:

GPS コールドスタート機能はデバイスの中にある古いシグナルデータを削除します。これは一般の操作モードにおいて、電源を落とすと、アップデートされたシグナルデータはメモリーに保存され、その後、次回スタートすると、その情報を参考値として捕捉が行われます。電源を落としたまま、ユーザーがいる場所が 500 キロを超える場合、コールドスタート機能を使い、シグナルデータを更新すると、測位を早くさせることができます。

I-6. 設定モード



設定モードでは計測単位、バックライト、輝度、タイムゾーン、時間形式、夏時間、GPS エンジン、G センサー感度、空き容量、表示言語、工場出荷時の設定に戻す、情報を設定できます。



- ◇ **空き容量:** ● ボタンを押すと、メモリー内にある全データを削除できます。押す前に、データのバックアップがされているかご確認ください。
- ◇ **GPS エンジン:** 電池を節約するには、デバイスの計測機能を使わない際は GPS 機能をオフにすると、電力を節約できます。
- ◇ **G センサー感度:** GPS センサー感度は既定値として 0.2G です。GPS センサーをスタート基準として使う場合、車両の安定度に沿い、ベストの状態であるようには G センサー感度を調整できます。
- ◇ **表示言語:** 英語、繁体中文、日本語が切り替えられます。選択が終了すると、ENTER ボタンを押すと、システムは自動的に言語の切り替えが行えます。その前、電池残量が十分することを確認してください。また、変換最中に、シャットダウンやリセットは行わないでください。

J. ファームウェア更新

この製品は新しい機能あるいは既存の機能を修正した時にファームウェア更新のサービスを提供させていただきます。よく QSTARZ JAPAN のホームページで最新のファームウェアをご確認ください。

(<http://www.qstarz.jp>) LT-Q6000 からの設定>>お使いのファームウェアバージョンをバージョンアップさせたい場合、下記の手順でファームウェアの更新を進んでください。

手順1: 電源を切って USB 線でパソコンと接続してください、LT-Q6000は自動的に USB ACCESS MODE (USB 保存モード)を入ります。

手順2: LT-Q6000 ファームウェアデータを解凍した後、メモリーのファイルをコピーしてください

手順3: USB 接続線を外した後、同時に「確認」と「電源」ボタンを押してモニター上で“CHECK FILE”が表示されたら、ボタンを離れてください、その後システムが更新ファームウェアを開始し、完成した後で自動的に再起動を行います。

注意1: ファームウェアを更新する前に電池容量を確認してください、更新時の安定性を維持させます。

注意2: 更新中リセット穴を押さないでください、更新失敗になる可能性があります。

■ K. 資料ダウンロードと分析

LT-Q6000 の中で二つのソフトウェア (QRacing™ QTravel™)を付き

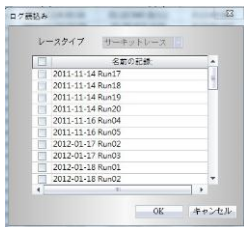
QRacing™トラックタイマー分析ソフトウェアはLT-Q6000中のデータをダウンロードして分析することができます、利用用途に応じて各種レーシング種類を分析します。

K-1. LT-Q6000 から資料をダウンロード

- 同封の CD で QRacing™ ソフトウェアをインストールし、初めて使用方はソフトウェアシリアル番号をインプットしないといけません。(CD 包装の中にあり)
- 電源を切って USB 線でパソコンと接続してください (電源 OFF 状態で PC と接続可能となります)
- QRacing ソフトウェアを開いてください
- メニュー>ファイル>読み取り記録を選択してください
- トラックタイプを選択してください



- レースタイプを選択してください (取り込むデータにチェックマークを入れて OK)



- QRacing™ を読んでピーコン(Beacon)を編集しますかと表示されますので、OK を押して LT-Q6000 の中で、ピーコンをインポートし、あるいはキャンセルを押して新しいピーコンを編集します。

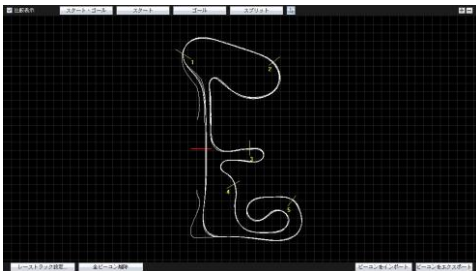


注意：LT-Q6000 からピーコンをダウンロードした後、QRacing はそのピーコンを各セッションで同じトラック内に表示していきます。もし、必要であれば別の新しいピーコンを設定して、その際 QRacing ソフトからピーコンのページでの全ピーコン削除を選択してから改めて新しいピーコンを設定してください。

K-2. ビーコン編集

まだトラックのビーコンを編集していない場合、QRacing はビーコンを編集しますか。と表示されます。ビーコンページにてスタート/ゴールとスプリットを編集してください。

注意：赤線はスタート/ゴール、黄色線はスプリットを意味します



K-3. データ解析

編集あるいはトラックビーコンを設定した後、ラップデータを解析することができます。解析ページを切り替えてラップタイムを解析することができます、ベストラップは青で表示されます。

照台ラップ設定: Lap 2

平均・最大・最小速度表示

ラップ	時間 (タイム差)	最大速度 (タイム差)	最低速度 (タイム差)	平均速度 (タイム差)	距離
Lap1	02:09 285 (+00.01 844)	167.08 km/h (-5.01)	39.83 km/h (-3.65)	95.91 km/h (-1.65)	3436.95メートル
Lap2 ベスト	02:07 821	172.09 km/h	40.84 km/h (-2.64)	97.56 km/h	3441.64メートル
Lap3	02:10 843 (+00.03 222)	171.84 km/h (-0.25)	43.48 km/h	96.09 km/h (-1.47)	3469.75メートル
平均	02:09 243	170.34	41.38	96.52	3449.45

区間表示 (スプリットからスプリット)

区間=前からスプリット次のスプリットまでの区間時間

区間表示 (スプリット・スプリット)

ラップ	時間(タイム差)	S-1(タイム差)	1-2(タイム差)	2-3(タイム差)	3-4(タイム差)	4-5(タイム差)	5-F(タイム差)
Lap1	02:09.265 (+00:01.644)	00:10.741 (+00.156)	00:12.018 (+00.129)	00:29.247	00:17.128	00:32.481 (+01.690)	00:27.651 (+01.678)
Lap2=ベスト	02:07.621	00:11.422 (+00.838)	00:12.064 (+00.114)	00:29.385 (+00.138)	00:17.269 (+00.141)	00:31.391	00:26.156 (+00.178)
Lap3	02:10.843 (+00:03.222)	00:10.584	00:11.890	00:32.104 (+02.658)	00:17.782 (+00.664)	00:32.502 (+01.111)	00:25.971
仮想ベストタイム	02:06.211	00:10.584	00:11.890	00:29.247	00:17.128	00:31.391	00:25.971
ベストラップタイム	02:06.689	00:10.584	00:11.890	00:29.385	00:17.269	00:31.391	00:26.156

スプリット表示 (スタートからスプリット)

スプリット=スタートから各スプリット地点までのタイム

スプリット表示 (スタート・スプリット)

ラップ	時間(タイム差)	S-1(タイム差)	S-2(タイム差)	S-3(タイム差)	S-4(タイム差)	S-5(タイム差)	S-F(タイム差)
Lap1	02:09.265 (+00:01.644)	00:10.741 (+00.156)	00:22.769 (+00.285)	00:52.005	01:09.133	01:41.614 (+00.144)	02:09.265 (+01.644)
Lap2=ベスト	02:07.621	00:11.422 (+00.838)	00:23.426 (+00.952)	00:52.811 (+00.868)	01:10.680 (+00.940)	01:41.471	02:07.621
Lap3	02:10.843 (+00:03.222)	00:10.584	00:22.474	00:54.578 (+02.672)	01:12.370 (+03.236)	01:44.871 (+03.461)	02:10.843 (+03.222)

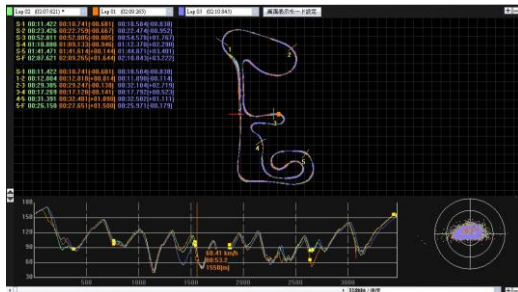
スプリット通過速度

現在速度表示

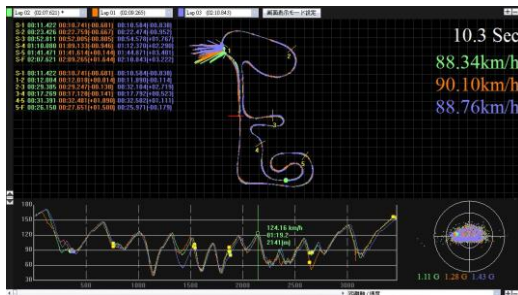
ラップ	時間(タイム差)	1(タイム差)	2(タイム差)	3(タイム差)	4(タイム差)	5(タイム差)	F(タイム差)
Lap1	02:09.265 (+00:01.644)	88.08 km/h (-0.49)	97.95 km/h (-5.76)	97.74 km/h (-3.97)	95.66 km/h	85.55 km/h (-20.34)	157.14 km/h
Lap2=ベスト	02:07.621	88.57 km/h	99.81 km/h (-3.90)	101.71 km/h	87.93 km/h (-7.73)	85.08 km/h (-0.81)	156.52 km/h (-0.62)
Lap3	02:10.843 (+00:03.222)	87.33 km/h (-1.24)	103.71 km/h	94.83 km/h (-6.88)	80.21 km/h (-15.45)	85.89 km/h	154.86 km/h (-2.28)

K-4. トラック表示

トラックページで3つのトラックを選択しデータの表示を比較することができます。あるいは下に曲線グラフで時間/速度/加速度/距離などの変化を分析することもできます。



QRacing™ は太い線と細い線で車両の加速とブレーキのアクションを表示されます。太い線は減速です、この情報についてはドライバー比較に大きく役立つはずですが。グラフ上クリックするとソフト上に同時に選択したラップと時間と速度とGセンサーの変化状況を表示します。

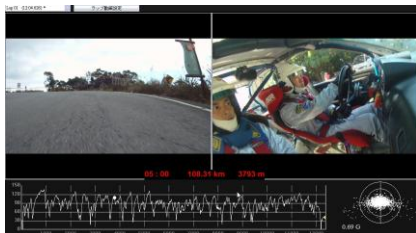


K-5. 画面表示モード設定

メニュー>ツール>画面表示モード設定の中、あるいはトラックページの画面表示モード設定を押し、画面表示モード設定のトラックの表示を選択できます。



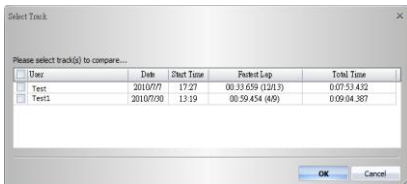
K-6. 映像の合成



QRacing™は自動的にデータと映像シンクロナイズの機能、映像ページの中で、設定映像を選択して走行動画設定のウィンドウの中で、表示させたい動画を選択できます。

K-7. 他のドライバーとの比較

比較を押して、同じタイプ（サーキット、レーシングレース、ラリー）内でデータを選択し、他のドライバーと比較します。



*もっと多くの情報は QRacing™ ソフト CD の中で使用ガイドをご覧ください、あるいは HP サイトでオンラインの教育の動画をブラウザしてください。

<http://www.qstarz.com/jppage/JPProduct/Software%20Product/JPQRacingVideo.html>

QTravel™ の中では Google 地図を通して写真の位置ビーコンの機能を行い、気軽に軌道をインポートとエクスポートでき、一番好きな写真は友達と家族たちを分かち合えます。

■ L.製品登録

最新情報、ソフトウェア、製品情報を得るため、ぜひ、登録してください。

<http://www.qstarz.com/reg.php>

■ M.ソフトウェア更新

QSTARZ JAPAN ホームページにて最新バージョンのソフトウェアをご確認ください

<http://www.qstarz.jp>

■ N. Q&A

1. デバイスが上手く GPS シグナル受信できない。

起動 1～2 分間後、LT-Q6000 は自動的に GPS シグナル受信できてさらに測定します、ただしビルや森の環境でもっと多くの時間をかかります。周りに障害物の内室外環境で設定してください、また金属物からも離してください。

2. LT-Q6000 が動かなくなりました。

USB 接続隣にデバイスのリセット穴があり、鉛筆や針で押してデバイスをリセットします。(デバイスリセットはメモリー中のデータを削除することはありません)

3. LT-Q6000 スタート・ゴールを設定しましたが、ラップタイムを表示が上手くされません。

必ずデバイスは直角で車両のフロントガラスでインストールしてください。また一度 PC に表示して設定したスタート&ゴール地点をご確認ください。